

京都大学 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 談話会
Global COE 普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学
The Next Generation of Physics,
Spun from Universality and Emergence

科学番組制作のフィロソフィを語る ～NHK・Eテレ「スイエンサー」を例に～

村松 秀 氏

(NHK エデュケーショナル科学健康部・専任部長)

日時：2012年 7月 27日（金曜日） 14:45－16:15
(Date and Time: July 27 (FRI), 2012, 14:15 - 16:15)

場所：理学部 5号館北棟・363号室（第2講義室）
(Place: Room North 363 [3F], Graduate School of Science,
5th Building North)

要旨：「スイエンサー」は、日常生活で抱く素朴な疑問、例えば「バースデーケーキのロウソクの火を一息だけで消せないか？」「スイカを種が入らないようにカットできないか？」といったテーマに真剣に挑んでいく、人気の科学（？）エンタメTV番組である。一見ただゆるく楽しいだけに見えるが、ひたすらグルグルと考えさせることで科学研究のプロセスの面白さ、そして科学的思考の醍醐味を少しでも感じてもらいたいという思いで番組を制作している。成果や情報ばかりが強調される科学技術社会へのささやかな抵抗でもある。「スイエンサー」の科学教育的アプローチとその制作の背景を語りたい。

【村松秀氏のプロフィール】 NHKで「ためしてガッテン」「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」「サイエンス ZERO」など、様々な科学番組制作を20年以上にわたって担当。取り上げてきたテーマは、科学論文捏造、環境ホルモン問題など多岐にわたる。現在は新しいスタイルの科学エンタメ番組「スイエンサー」の制作統括。科学ジャーナリスト大賞、バンフテレビ祭ロッキー賞、放送文化基金賞最高賞、地球科学映像祭大賞など受賞多数。

連絡先 (Contact)：前野 悦輝 (Y. Maeno, maeno@scphys.kyoto-u.ac.jp 内線:3783)